

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ
InterSec

N8100-1341

Express5800/SG300e

ユーザーズガイド

商標について

ESMPROおよびDianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。FireWall-1はCheck Point Software Technologiesの登録商標または商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightとROM-DOSはDatalight, Inc.の登録商標または商標です。Adaptecとそのロゴ、HostRAID、Adaptec Storage Managerは米国Adaptec, Inc.の登録商標または商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003 x64 EditionsはMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating system または、Microsoft® Windows® Server 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2 Enterprise Edition operating systemまたは、Microsoft® Windows® Server 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows XP x64 EditionはMicrosoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもので、実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。本製品で使用しているソフトウェアの大部分は、BSDの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。本製品で使用しているオープンソースコードについては弊社サイト『<http://www.express.nec.co.jp/linux/>』をご参照ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています(本体に印刷されている場合もあります)。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警告 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

⚠ 注意 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	<p>指定以外のコンセントに差し込まない</p> <p>電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。</p>	⚠ 注意

本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	爆発や破裂による傷害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	<p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>
	<p>規格以外のラックで使用しない</p> <p>本装置はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックにも取り付けて使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。</p>
	<p>指定以外の場所で使用しない</p> <p>本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。</p> <p>本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。</p>

⚠ 注意



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取扱いに関する注意事項

⚠ 注意



1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(4Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する

ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながらない

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り返さない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されている物です。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の高い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



腐食性ガスの存在する環境で使用しない

腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなどの)の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。



落下注意

本装置をラックに取り付けるまたは取り外す際は、底面をしっかりと持ってください。ラック取り付けブラケットには、落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため装置をラックからすべて引き出すと、装置がラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。



装置を引き出した状態にしない

装置を引き出した状態のまま作業をしないでください。ラック取り付けブラケットには落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため作業中に装置が脱落してけがをするおそれがあります。



カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。



プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

⚠ 注意

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない



インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠ 警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウムバッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項

⚠ 注意



雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



DVD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。



動作中に装置をラックから引き出さない

本装置が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。



巻き込み注意

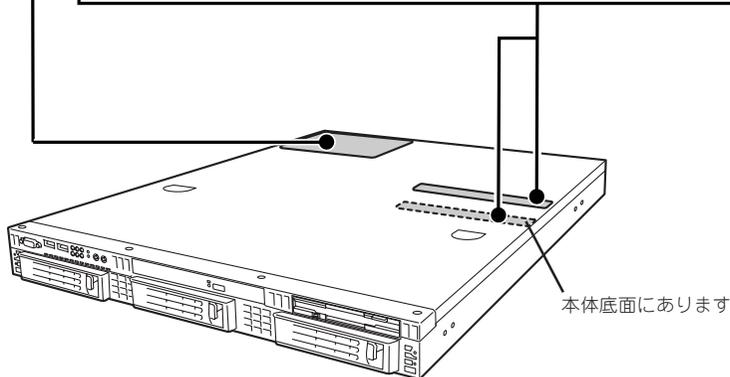
本装置の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本体に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本体に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意 CAUTION	
<p>高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。 As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.</p>	⚠
<p>電源を切ってもバッテリーで稼働している部分があります。保守をする前に各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読みください。 Some internal components may still be operational on battery power. Refer to instruction manuals for this system as well as options prior to maintenance.</p>	⚠
<p>オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.</p>	⚠ 電源プラグを抜く 感電注意
<p>ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。 Do not drop any screws inside the system.</p>	⚠
<p>ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。 Refer to "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.</p>	⚠
<p>指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意して下さい。 To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.</p>	⚠ 手を挟まれないよう注意
<p>装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて持ち上げて下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.</p>	⚠

⚠ 注意 CAUTION	<p>落下注意 これ以上引くと落下します。 Firmly hold the bottom of the system when removing from the rack cabinet.</p>	➡
---------------------	--	----------



取り扱い上のご注意

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本体の電源をOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本体のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本体の電源再投入間隔は下記時間を遵守ください。
 - AC OFF後、再びAC ONするとき：30秒以上
 - AC ON後、DC ONするとき：30秒以上
 - DC OFF後、再びDC ONするとき：30秒以上

無停電電源装置(UPS)に接続している場合も上記の時間間隔の確保をお願いします。

- 本体を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本体を清掃してください(清掃は7章で説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- 規格に準拠しない「コピーガード付きDVD/CD」などのディスクにつきましては、DVD/CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- PCIスロットに搭載したオプションのLANボードに接続したケーブルを抜くときは、コネクタのツメが手では押しにくくなっているため、マイナスドライバなどを使用してツメを押して抜いてください。その際に、マイナスドライバなどがLANポートやその他のポートを破損しないよう十分に注意してください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

- 装置の輸送後
- 装置の保管後
- 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。
 参考： 冬季(室温と10度以上の気温差)の結露防止に有効な時間
 ディスク装置： 約2～3時間
 メディア： 約1日
- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができていても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



ヒント

保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。
 本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

はじめに

このたびは、NECのInterSecシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、インターネットビジネスに欠かせないファイアウォール機能、キャッシュ機能、メールサービス、Webサービス、ウィルスチェック機能、ロードバランサなど、各機能をそれぞれの専用ハードウェアに集約したNECのInterSecシリーズの1つです。

コンパクトなボディに高性能と容易性を凝縮し、堅牢なセキュリティ機能が安全で高速なネットワーク環境を提供いたします。

また、セットアップのわずらわしさをまったく感じさせない専用のセットアッププログラムやマネージメントアプリケーションは、お客様の一元管理の元でさらに細やかに高度なサービスを提供します。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、もよりの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドは、InterSecシリーズのホームページからダウンロードすることができます。

<http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は7つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には付録・索引があります。必要に応じてご利用ください。



- 「使用上のご注意」をはじめをご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 6章にRAIDの設定方法に関する記載がありますが、2007年4月の時点ではRAID構成に対応していません。RAID構成での動作は、将来的に対応予定です。対応可能となり次第、ホームページなどに情報を掲載し、お知らせいたします。

第1章 InterSecシリーズについて 本製品の特長や添付のソフトウェアについて説明します。

第2章 ハードウェアの取り扱いと操作 本体の設置や接続、各部の名称などシステムのセットアップを始める前や運用時に知っておいていただきたい基本的なことからについて説明しています。

第3章 システムのセットアップ 専用ツールによるセットアップなど装置を使用できるまでの作業と注意事項を説明します。再セットアップの方法についても説明しています。

第4章 ファイアウォール機能の設定方法 管理クライアントからWebブラウザを使って本装置にアクセスし、ファイアウォールに関する設定をする方法について説明します。

第5章 保守・管理ソフトウェア 本体に添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」の使い方とCD-ROMにあるツールやアプリケーションの使用方法について説明します。また、本体添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」および「バックアップCD-ROM」にそれぞれ収納されている「ESMPRO/ServerManager」と「ESMPRO/ServerAgent」の使用方法については、それぞれのCD-ROMに格納されているオンラインドキュメントをご覧ください。

第6章 システムの拡張とコンフィグレーション 内蔵オプションの取り付け/取り外し方法と、BIOSの設定内容の確認と変更方法、標準装備のRAIDコントローラを使ったRAIDの設定方法などについて説明します。

第7章 故障かな?と思ったときは 「故障かな?」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。また、この章では故障を未然に防ぐための保守のしかたやInterSecシリーズをご利用のお客様に提供しているサービスについても紹介しています。

付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品チェックシートを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、使用上のご注意を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようお客様
の責任において確実に処分してください。

オペレーティングシステムのコマンドなどを使用して削除すると、見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態
にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、
予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス
(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去につ
いての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場
合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があ
ります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本体およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、本体添付の電源コードについても他の装置への転用を防ぐために、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



重要

- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
 - ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。
- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、本体内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

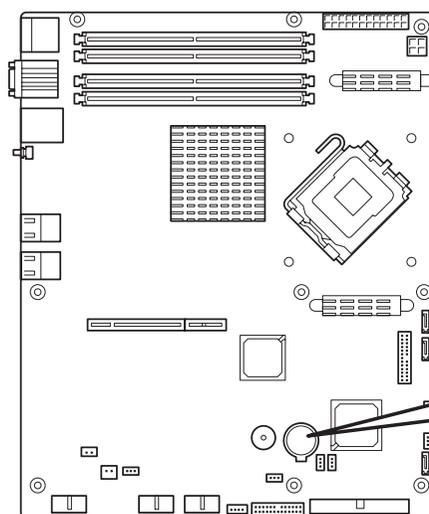


警告

リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウムバッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
一般的な注意事項	v
ラックの設置・取扱いに関する注意事項	vi
電源・電源コードに関する注意事項	vii
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	viii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	ix
運用中の注意事項	x
警告ラベルについて	xi
取り扱い上のご注意	xii
はじめに	xiv
本書について	xv
本文中の記号について	xv
本書の再購入について	xv
本書の構成について	xvi
付属品の確認	xvii
第三者への譲渡について	xviii
消耗品・装置の廃棄について	xix

1 InterSecシリーズについて

InterSecシリーズとは	2
Express5800/SG300について	4
概要	4
ライセンスキー	7
ソフトウェアサポートサービス	7
注意・制限事項	9
添付のディスクについて	10

2 ハードウェアの取り扱いと操作

設 置	12
ラックへの設置	12
取り付け部品の確認	14
必要な工具	14
取り付け手順	15
取り外し手順	22
各部の名称と機能	24

本体前面	24
本体背面	26
本体内部	27
マザーボード/バックプレーンボード	28
ランプ表示	29
POWERランプ	29
STATUSランプ	29
DISK ACCESSランプ	31
アクセスランプ	31
UID(ユニットID)ランプ	31
ACT/LINKランプ	31
SPEEDランプ	31
Diskランプ	32
接続について	33
基本的な操作	36
フロントベゼル	36
POWERスイッチ - 電源のON/OFF/再起動-	37
フロッピーディスクドライブ	38
フロッピーディスクのセット/取り出し	38
フロッピーディスクの取り扱いについて	38
DVD-ROMドライブ	40
ディスクのセット/取り出し	40
取り出せなくなったときの方法	41
ディスクの取り扱いについて	42
UIDスイッチ - 本体の確認 -	43

3 システムのセットアップ

セットアップの準備	46
セットアップ	47
設定手順の流れ	47
インストール/初期導入設定用ディスクによる設定	48
インストール/初期導入設定用ディスクの作成	48
初期導入設定ツールの実行と操作の流れ	48
入力項目の設定	49
インストール/初期導入設定用ディスクによるセットアップ	56
システムの基本設定	60
セキュリティポリシーのセットアップ	63
Management Consoleの起動	64
ライセンスとソフトウェアサポートサービスの登録	65
かんたん設定ウィザードによるポリシーールの作成	66
バックアップ	69
システム基本情報のバックアップ	69
セキュリティポリシーのバックアップ	71
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	72
システム情報のバックアップ	72
二重化構成について	73
動作概要	73
初期セットアップ	75
二重化のための詳細セットアップ	76
二重化サービスの(再)起動と停止	78
二重化機能の詳細設定	79

状態の確認	81
フェイルオーバーとフェイルバック	83
手動による切り替え	84
単体構成への切り替え	85
注意・制限事項	86
再セットアップ	87
システムの再インストール	87
再インストールの準備	87
再インストール手順	88
残りのタスク	90

4 ファイアウォール機能の設定方法

Management Consoleについて	92
Management Consoleの接続	92
Management Consoleのトップ画面	94
かんたん設定ウィザード	95
設定作業の流れ	96
設定内容の確認	97
ネットワーク構成の選択	98
ネットワークインタフェースの選択	99
公開サーバの設定	101
ウェブサーバの設定	101
メールサーバの設定	103
ファイル転送サーバの設定	104
ネームサーバの設定	105
SIPサーバの設定	107
外部ネットワークに公開するその他のサーバ群の設定	109
外部サービスの利用の選択	111
不正アクセス対策レベルの設定	112
ユーザ認証の利用の設定	114
かんたん設定ウィザードでの設定内容の確認	116
詳細設定メニュー	118
ルール設定	119
設定作業の流れ	120
サイト共通ルール	121
サイト共通ルールの設定内容の確認	121
サイト共通ルールの追加	124
サイト共通ルールの削除	129
サイト共通ルールの更新	131
ルール評価順の入れ替え	135
内部から外部への通信におけるウェブ専用フィルタの設定	137
グループルール	141
グループルールの設定内容の確認	142
グループルールの追加	144
グループルールの削除	150
グループルールの更新	152
サーバ公開ルール	156
サーバ公開ルールの設定内容の確認	156
サーバ公開ルールの追加	159
サーバ公開ルールの削除	162
サーバ公開ルールの更新	164

外部から内部への通信におけるウェブ専用フィルタの設定	167
流入量制限ルール	171
流入量制限ルールの設定内容の確認	172
流入量制限ルールの追加	174
流入量制限ルールの削除	176
流入量制限ルールの更新	178
アドレスグループ	180
アドレスグループの確認	180
アドレスグループの追加	182
アドレスグループの削除	185
アドレスグループの更新	188
サービス	191
サービスの確認	191
サービスの追加	193
サービスの削除	196
サービスの更新	198
ルール設定の履歴表示	201
設定履歴を参照するには	201
過去の設定内容に戻すには	203
設定履歴を削除するには	206
インポート/エクスポート	209
設定内容のインポート	209
設定内容のエクスポート	212
ユーザ設定	213
ユーザ設定	213
ユーザ情報の確認	214
CSVファイルを経由したユーザの一括登録	215
ユーザの個別追加	218
ユーザ情報の削除	221
ユーザ情報の更新	223
ユーザ情報のCSVファイルへの出力	225
認証設定	227
ロックアウト設定	229
グループ設定	231
グループ情報の確認	231
グループ情報の追加	233
グループ情報の削除	235
グループ情報の更新	237
VPN設定	240
VPN設定ウィザード	241
LAN間接続	242
リモートアクセスVPN	246
VPNパス設定	252
VPNパス確認	252
VPNパスの追加(共有鍵交換)	254
VPNパスの追加(自動鍵交換：トンネルモード)	260
VPNパスの追加(自動鍵交換：トランスポートモード)	266
VPNパスの削除	271
VPNパスの更新	273
VPNパラメータの設定	275
ログ・アラート設定	277
ログ・アラートファイル設定	277
ログ・アラートファイルダウンロード/アップロード	279
アラートアクション設定	281

情報表示	284
状態表示	284
ログ・アラート表示	285
ログ表示	285
CSV出力	289
簡易集計表示	292
外部統計用CSV出力	294
ライセンスの確認と登録	295
ライセンスキー／サポートキーの登録	295
ライセンス設定の確認	297
システムメンテナンス	298
ソフトウェアアップデート	298
バックアップ	301
バックアップの取得	301
バックアップのリストア	303
ユーザ認証	305
ユーザ認証	305
ユーザパスワードの変更	307

5 保守・管理ソフトウェア

EXPRESSBUILDER (SE)	310
起動方法	310
本体にコンソールを接続しての起動	310
LAN接続された管理PCからの起動	311
ダイレクト接続 (COM B) された管理PCからの起動	311
トップメニュー (コンソール時のメニュー)	312
ツールメニュー	312
トップメニュー (コンソールレス時のメニュー)	315
起動方法	315
ツールメニュー	316
マスターコントロールメニュー	317
オフライン保守ユーティリティ	318
オフライン保守ユーティリティの起動方法	318
オフライン保守ユーティリティの機能	319
システム診断	320
システム診断の内容	320
システム診断の起動と終了	320
DianaScope	323
BMC Online Update	324
インストール	324
起動方法	324
エラー表示一覧	325
ESMPRO	326
エクスプレス通報サービス	327

6 システムの拡張とコンフィグレーション

内蔵オプションの取り付け	330
安全上の注意	330
静電気対策について	331
取り付け/取り外しの準備	332
ラックに設置している場合	333
取り付け/取り外しの手順	335
ハードディスクドライブ	335
DIMM	340
PCIボード	344
N8103-91ディスクアレイコントローラ	348
冗長ファン	351
システムBIOSのセットアップ (SETUP)	355
概要	355
起動	356
キーと画面の説明	357
設定例	358
パラメータと説明	361
Main	361
Advanced	364
Security	371
Server	373
Boot	379
Exit	380
リセットとクリア	382
リセット	382
強制電源OFF	382
CMOSメモリ・パスワードのクリア	383
割り込みライン	385

7 故障かな?と思ったときは

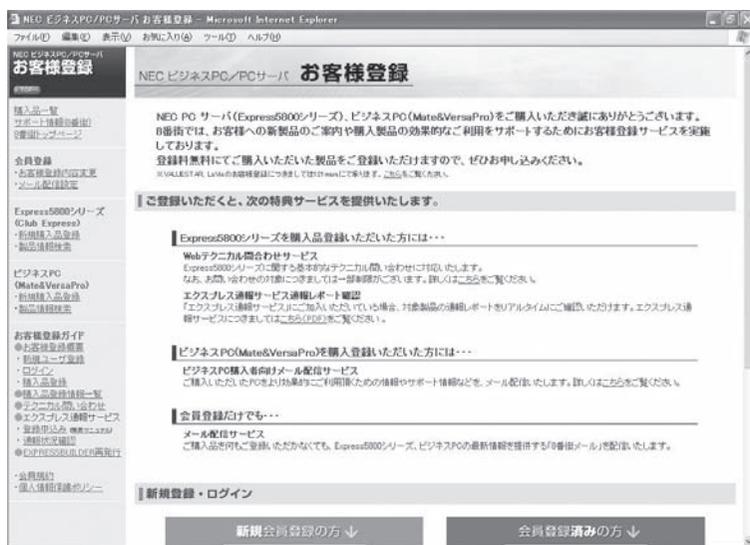
日常の保守	388
アラートの確認	388
ステータスランプの確認	388
バックアップ	389
クリーニング	389
本体のクリーニング	389
ディスクのクリーニング	390
障害時の対処	391
障害箇所の切り分け	391
エラーメッセージ - 電源ON後のピーブ音 -	392
トラブルシューティング	393
本体について	393
Management Consoleについて	394
ユーザ認証について	395
EXPRESSBUILDER (SE)について	395
マスターコントロールメニューについて	396
ESMPROについて	397
FAQ	398

GUI関連	398
NAT	398
認証	398
ライセンス関連	398
その他	398
移動と保管	399
ユーザーサポート	401
保証について	401
修理に出される前に	402
修理に出される時は	402
補修用部品について	402
保守サポート/保守サービスについて	403
ソフトウェアに関するサポート	403
ソフトウェア以外に関するサポート	403
ハードウェアメンテナンスサービス	403
オプションサービス	404
情報サービスについて	405
付録A 仕様	407
付録B 二重化機能のログメッセージ	408
付録C 保守サービス会社網一覧	410
索引	415

ユーザー登録をしましょう！

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページにてご登録ください。

<http://club.express.nec.co.jp/>



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ESM/PRO/ServerManager Ver.4.2インストールガイド
- DianaScopeオンラインドキュメント

添付の「バックアップCD-ROM」にはオンラインドキュメントとして「ESM/PRO/ServerAgent Ver.4.2 (Linux版)」のユーザーズガイドが収められています。必要に応じて参照してください。

バックアップCD-ROM:/nec/Linux/esmpo.sa/doc